

# 感染症

## 対策セミナー

新型コロナウイルスにも対応した  
日常の衛生管理について

松原産業セミナー  
2021年11月16日



# 感染症.comって？

医療機関、介護施設、障害者支援施設、保育園、幼稚園、宿泊施設、温浴施設、食品工場、給食施設、飲食店、理美容、清掃会社、船舶、商業施設、公共施設、建設業、旅客運送業、衛生用品メーカーなど

- ① 感染症対策マニュアルの作成・編集・指導
- ② 感染症対策のスペシャリスト育成研修
- ③ 感染症対策専門資格の検定講座
- ④ 食品衛生、一般的衛生管理、HACCPの設計・指導
- ⑤ 定期訪問監査と指導
- ⑥ 検便、ノロウイルス、PCRなどの各種検査
- ⑦ 休業補償・経済損失の補償設計、BCP設計・指導

など、**必要な対策を一貫して提供出来る日本で唯一の組織**です。

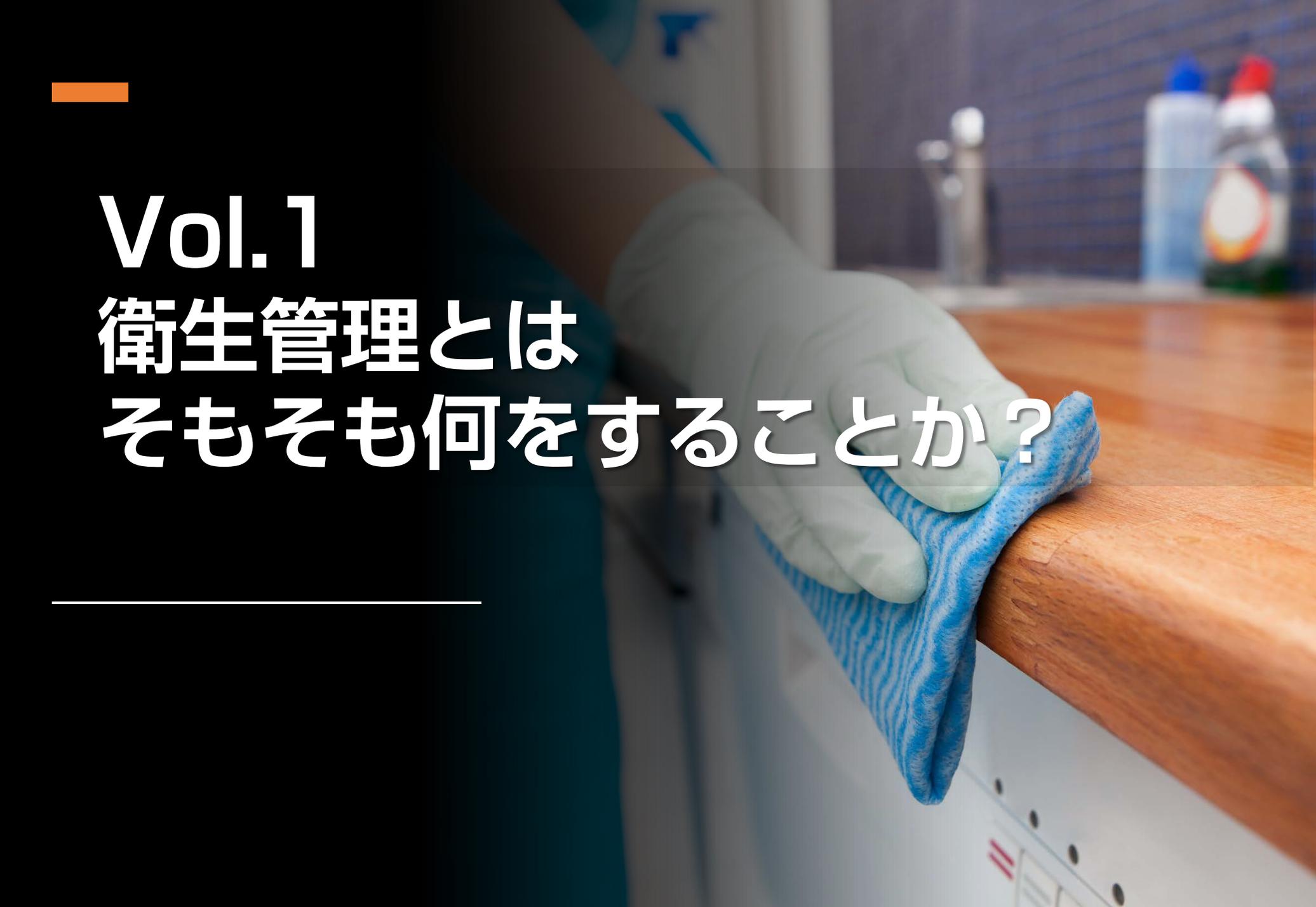
# セミナーの**受け方**について

- 1) 曖昧な知識を**整理**しましょう
- 2) **判断材料**となるものを持ち帰りましょう
- 3) **アウトプット・共有**をしましょう
- 4) **質問**をしてみましょう



# 本日のセミナーのポイント

1. 衛生管理とはそもそも何をすることか？
2. 生活洗剤、漂白剤、消毒剤の違いと使い方について
3. 何をどこまで消毒すべきかについて



**Vol.1**  
**衛生管理とは**  
**そもそも何をすることか？**

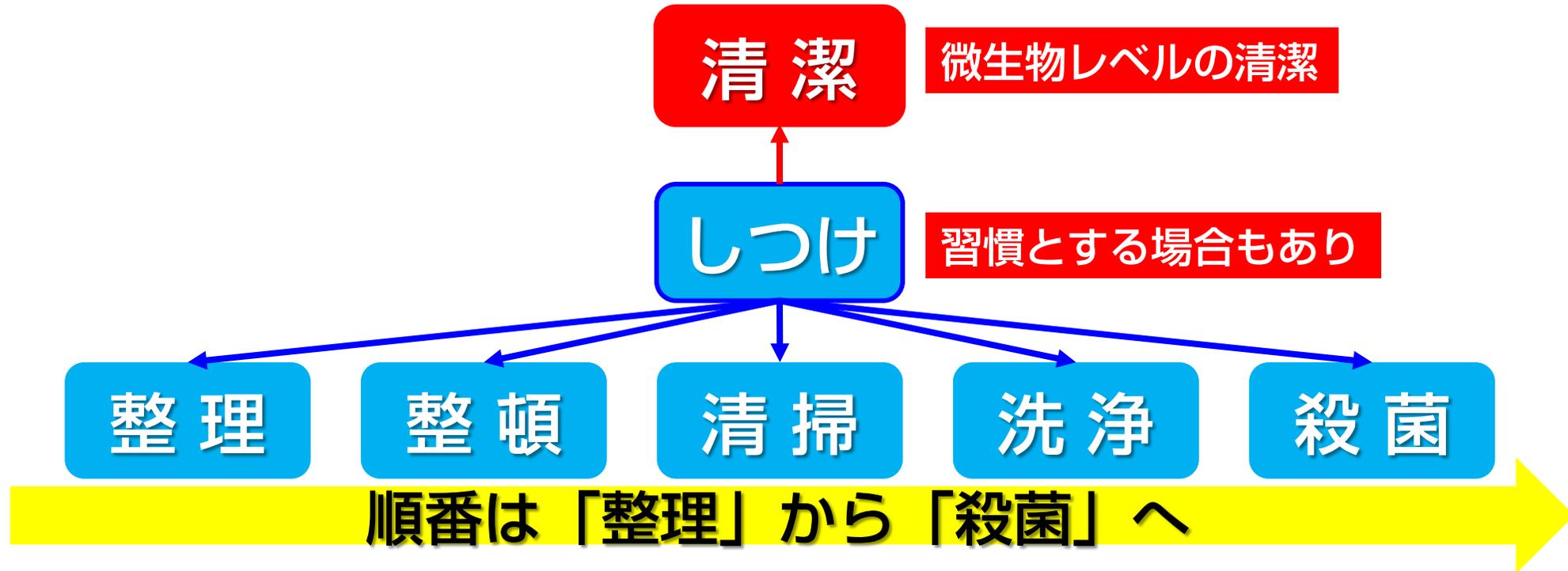
---

# 衛生管理の7Sを理解する

整理 Seiri	必要なモノと不要なモノを判別し、 <b>不要なモノは廃棄</b> します。断捨離と同様の意味です。
整頓 Seiton	整理した結果、残った必要なモノの保管場所、保管方法、必要な数量を定めます。使用したら元に戻す <b>定位置保管</b> を行います。
清掃 Seisou	汚れやゴミ、チリが無いように掃除します。
洗淨 Senjou	店舗や設備、作業環境の汚れと病原体を除去します。
殺菌 Sakkin	病原体を不活性化・除去・増殖の抑制などを行ないます。
しつけ Shitsuke ※習慣 Shukan	「 <b>整理・整頓・清掃・洗淨・殺菌</b> 」における作業手順を遵守することを <b>教育</b> します。※「 <b>習慣</b> 」とする場合もあります。
清潔 Seiketsu	「しつけ」がスタッフに浸透しており、適切な衛生管理が維持されていることで、 <b>微生物レベルの清潔</b> が達成されます。

**殺菌をする事だけが、衛生管理ではありません**

# 衛生管理の7Sの相関関係



- 1) **整理**と**整頓**は、衛生管理の初歩である
- 2) **清掃**しづらい箇所は、**殺菌**も不十分となる
- 3) よって、**清掃しやすい環境**を作ることが初歩となる

**整理・整頓は、感染症対策の初歩でもある**

# 「片付けられない」は感染リスク



**デスクは作業をする場所である**

# 「片付けられない」は食中毒リスクも



**テーブルは食事や作業をする場所である**

# 散らかる原因は「平積み」



「平積み」ではなく、ファイルボックスで縦保管へ

# 整理・整頓のまとめ

1. **分別**をして、不要な物を**廃棄**する。
2. 「いつか使う」の「**いつか**」は来ない。
3. 必要な物は、**保管場所**と**保管方法**を分ける。
4. 頻繁に使うものは**事務所**、あまり使わないものは**倉庫**。
5. スキャナを使って**データ**で管理。
6. 作業に必要な無い物は**デスク**に置かない。
7. **テーブル**は使ったら**リセット**（清掃・消毒）する。
8. 使った備品は、元に戻す。（**定位置保管**）
9. 「**忙しい**」は言い訳にならない。
10. 物を探す時間ほど**無駄な時間**は無い。
11. 片付けられない施設ほど、**集団感染**を出す。



Vol.2

生活洗剤、漂白剤、消毒剤の  
違いと使い方について

---



# 目的が違うから分類されている

<h2>生活洗剤</h2> <p>酸性洗剤 中性洗剤 アルカリ性洗剤</p>	<h2>汚れ</h2> <p>を落とす事が目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>※病原体によっては不活化</li><li>※物理的に病原体を除去</li></ul>
<h2>漂白剤</h2> <p>塩素系漂白剤 酸素系漂白剤 (液体、粉末) 還元系漂白剤</p>	<h2>シミ</h2> <p>を分解する事が目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>※病原体によっては不活化</li><li>※塩素系漂白剤は消毒剤として代用</li></ul>
<h2>消毒剤・除菌剤</h2> <p>高水準、中水準、低水準 その他除菌剤</p>	<h2>病原体</h2> <p>を不活化する事が目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>※汚れを落とす成分は入っていない</li><li>※汚れが消毒効果を下げる</li></ul>

目的と副産物を混同せずに理解しましょう

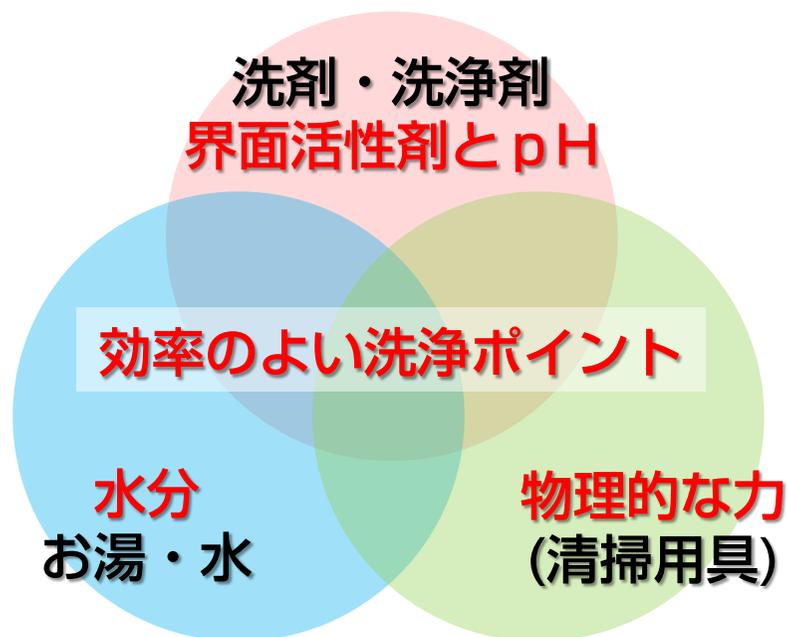
# 消毒の前提条件とよくある間違い

- 1) 消毒の邪魔となる**汚れが無い**こと。
- 2) 対象となる病原体に**有効な成分**であること。
- 3) 対象となる**箇所・人体**に使用出来ること。

## よくある間違い

- 1) **油汚れ**があるのにアルコールスプレー。
- 2) **嘔吐物や排泄物**の汚染にアルコールを使用。
- 3) 次亜塩素酸ナトリウムを**スプレー**。
- 4) すぐに消毒剤を**拭き取る**。

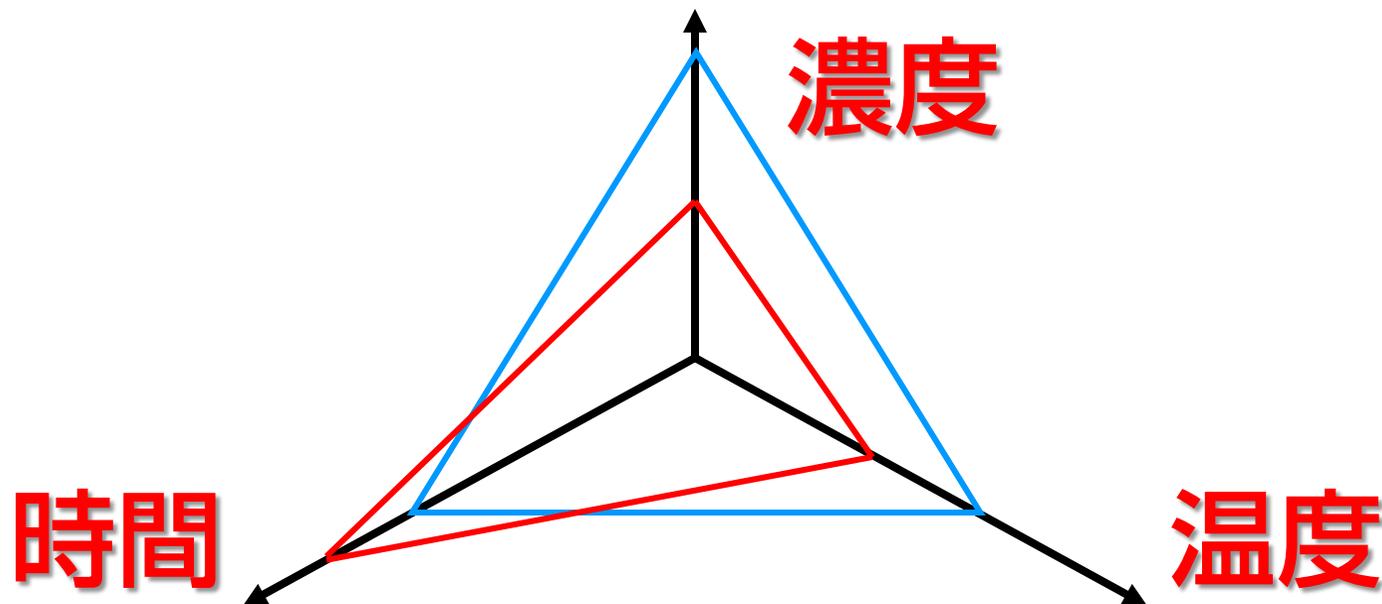
# 洗浄効果の3要素



1. 「洗剤の成分」「水分」「物理的な力」で決まる。
2. 「洗剤の成分」は、酸性、中性、アルカリ性で分類。
3. 「洗剤」は粉なので、「水分」と混ぜて市販されている。
4. 「物理的な力」は、拭き取る<擦り取る<削り取る。

日常の汚れを落とすポイントは、物理的な力

# 漂白と消毒・滅菌効果の3要素



1. 「濃度」「温度」「時間」で決まる。
2. 「濃度と温度」が高いと効果は高まるが危険性も増す。
3. 「温度」は室温・常温を目安とする。
4. 「時間」は、30秒程度を目安とする。
5. アルコール（エタノール）は、濃度を下げられない。 ※70～80%が推奨

日常の漂白と消毒のポイントは、作用時間

# 生活洗剤の種類

	成分	特徴	主な洗剤・洗浄剤
pH1 ↑	酸性	<b>アルカリ性の汚れ</b> を落とす。 例：尿石、水垢 ※主にカルシウムの結晶	サンポール
	弱酸性		クエン酸
pH6	中性	<b>界面活性剤</b> の力のみで、汚れを浮かす。	中性洗剤
↓ pH13	弱アルカリ性	<b>酸性の汚れ</b> を落とす。 例：手垢、食べカス、油分、湯垢、古いワックス ※湯垢はマグネシウム	かんたんマイペット
	アルカリ性		マジックリン

1. 酸性とアルカリ性は、**中和反応**で汚れを落とす。
2. 日常清掃は、中性や弱アルカリで充分。
3. 酸性を使うのは、清掃をサボった証拠。
4. 酸性以外は、汚れに応じて**希釈**して使用してもOK。

**放置しなければ、薄い洗剤でも汚れは落ちる**

# 漂白剤の種類

分類	酸化型漂白剤			還元型漂白剤
	塩素系	酸素系		
形状	液体	液体	粉末	粉末
主成分	次亜塩素酸ナトリウム	過酸化水素	過炭酸ナトリウム	二酸化チオ尿素
pH	アルカリ性	弱酸性	弱アルカリ性	弱アルカリ性
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>作用が強力</li> <li>色柄物は不向き</li> <li>除菌効果が最も高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作用が穏やか</li> <li>色柄物向き</li> <li>漬け置き不用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作用が穏やか</li> <li>色柄物向き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄分の漂白に強い</li> <li>色柄物は不向き</li> </ul>
主な製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイター</li> <li>キッチンハイター</li> <li>キッチン泡ハイター</li> <li>ブリーチ</li> <li>キッチンブリーチ</li> <li>カビハイター など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイドハイター (液体)</li> <li>カラーブリーチ</li> <li>襟袖用 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイドハイター (粉末)</li> <li>オキシクリーン など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイドロハイター など</li> </ul>

1. 洗濯洗剤と相乗効果があるので洗濯時は**一緒に使う**。
2. 酸素系漂白剤（液体）は、**漬け置き不用**。
3. 次亜塩素酸ナトリウムは薄めてもスプレーは**危険**。

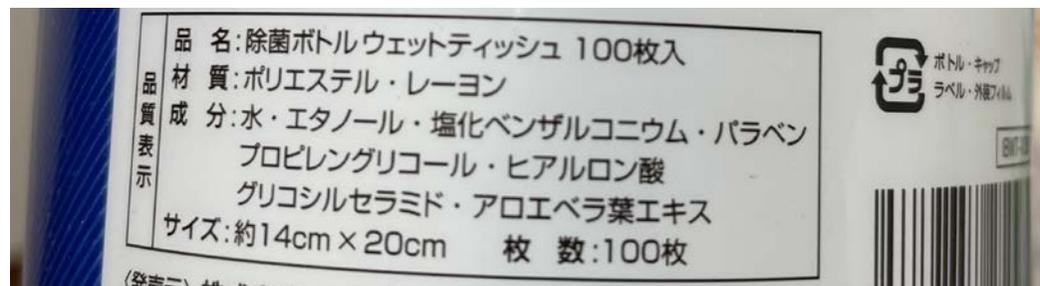
**洗濯・漂白の順番を守ると効果的**

# 消毒剤の種類 (1)

水準	消毒薬	グラム 陽性菌	グラム 陰性菌	真菌		結核菌	芽胞	ウイルス	
				酵母	糸状菌			エンバ ロープ 有	エンバ ロープ 無
高水準	過酢酸	○	○	○	○	○	○	○	○
	グルタラール	○	○	○	○	○	○	○	○
	フタラール	○	○	○	○	○	△	○	○
中水準	次亜塩素酸ナトリウム	○	○	○	○	○	△	○	●
	ポピドンヨード	○	○	○	○	○	△	○	○
	ヨードチンキ	○	○	○	○	○	△	○	○
	エタノール (アルコール類)	○	○	○	△	○	×	○	▲
	イソプラパノール	○	○	○	△	○	×	○	△
	0.5% クロルヘキシジンエタノール	○	○	○	△	○	×	○	△
	フェノール	○	○	○	△	○	×	△	×
	クレゾール	○	○	○	△	○	×	△	×
低水準	ベンザルコニウム塩化物	○	○	○	△	×	×	▲	×
	ベンゼトニウム塩化物	○	○	○	△	×	×	△	×
	アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩	○	○	○	△	○	×	△	×
	クロルヘキシジングルコン酸塩	○	○	○	△	×	×	△	×

対象となる病原体の効果を理解しておく

# 消毒剤の種類 (2)



1. ウイルスは、**エンベロープの有無**で効果が大きく変わる。
2. エタノールは、**エンベロープ有**が対象。
3. エタノールは、**51%以上の濃度**が必要。
4. ベンザルコニウム塩化物は、主に細菌・真菌が対象。
5. ベンザルコニウム塩化物は、**0.05%以上の濃度**が無いとエンベロープ有のウイルスには効果が無い。
6. **成分表示**を確かめてから購入すべき。

**使用する製品の成分を確認することが重要**

# 消毒剤と除菌剤の違い

1. 消毒剤・殺菌剤は、薬機法上の**認可を取得**した製品。
2. 除菌剤は、認可を受けていない**一般雑貨**。
3. 消毒剤・殺菌剤であっても**全ての病原体に効果があるわけではない**。
4. 除菌剤であっても、消毒剤と**同等以上の効果**がある製品も存在する。
5. 次亜塩素酸**ナトリウム**と次亜塩素酸**水**は、全くの**別物**。
6. 次亜塩素酸水は、除菌剤であるが、「**各製品の安全性情報や使用上の注意事項等を確認いただき、消費者に御判断いただくもの**」と厚生労働省も通知。 ※令和3年10月21日  
厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部

**適切なメーカーの製品の使用方法を守ることが重要**

# 清掃と消毒の手順

適切な清掃・洗浄

適切な消毒・滅菌



1. 汚れを落としてから、消毒する。
2. 汚れが無ければ、消毒から始めても良い。

まずは日常清掃をしっかりと実施することが重要

# 生活洗剤の使い方

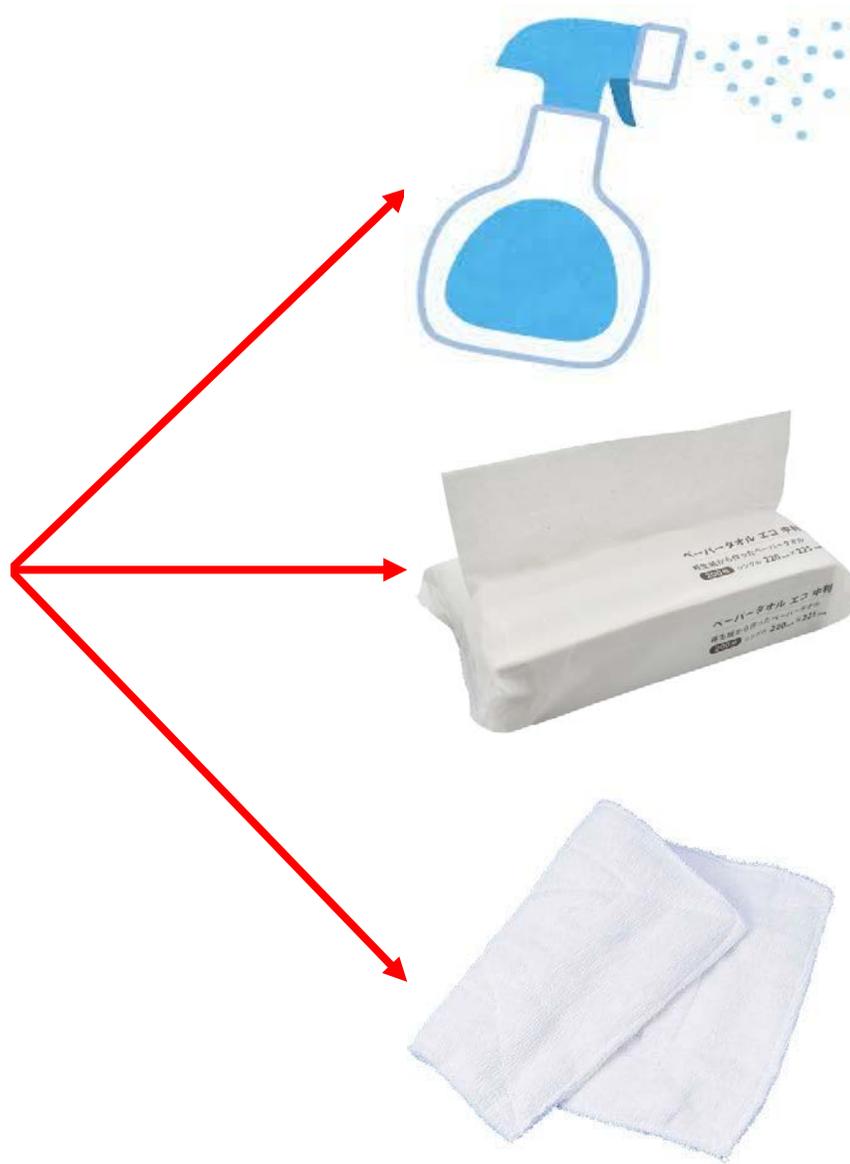


ペーパー  
物理的な力：軽め

雑巾・布巾  
物理的な力：普通～強め

スポンジ  
物理的な力：強め

# 消毒剤の使い方（アルコール類）



吹き付け後に30秒放置  
 ※ペーパーもしくは  
 清潔な布で拭き取りもOK

ペーパー  
 薬剤をたっぷりと  
 含ませて清拭  
 30秒放置

布巾  
 薬剤をたっぷりと  
 含ませて清拭  
 30秒放置

Page: 25

# 消毒剤の使い方（次亜塩素酸ナトリウム）

© 感染症.com



ペーパー  
200ppm程度に希釈  
薬剤を含ませて清拭  
30秒経過後に濯ぎ拭き

布巾  
200ppm程度に希釈  
薬剤を含ませて清拭  
30秒経過後に濯ぎ拭き

# 除菌剤の使い方（次亜塩素酸水）



吹き付け後に30秒放置  
※ペーパーもしくは  
清潔な布で拭き取りもOK



ペーパー  
薬剤をたっぷりと  
含ませて清拭  
30秒放置



布巾  
薬剤をたっぷりと  
含ませて清拭  
30秒放置



Vol.3  
何をどこまで  
消毒すべきかについて

---

# 汚れと一緒に病原体を物理的に除去

1. 病原体は、**汚れと一緒に除去**出来る。
2. 一部の病原体は、界面活性剤でも**不活化**する。
3. 汚れがあると消毒効果は**下がる**。
4. 手洗いが感染症対策に有効な理由はこのため。
5. 食べカスを**放置**すると、細菌やカビが**増殖**。
6. 清掃道具は、**衛生的**に管理する。
7. 清掃道具は、場所によって**使い分ける**。

**清掃・洗淨を省略してはならない**

# 消毒はポイントを絞って良い

1. 消毒はリセットの仕上げと考える。
2. 消毒に持続性は無い。
3. リセットが必要な箇所とタイミングを検討する。
4. 手すりやドアノブを、1日に何回も消毒することよりも、**手指衛生**に注意する事の方が有効。
5. 共有する物は、生活洗剤で**手垢**を落としてから消毒。 (複合機、大型文具、タブレット、冷蔵庫、電子レンジ、ポット、リモコン等)
6. テーブルは、**食品衛生**として清掃と消毒でリセット。
7. トイレは、**巡回**して汚染があれば**都度リセット**。
8. **嘔吐物処理**は絶対に消毒を実施する。
9. 塩素で**過剰に消毒**している施設ほど集団感染が多い。

消毒剤を使えば良いといった対応は、  
経費と労力と時間の無駄使いです



# 質疑応答

本日のテーマ以外でもOKです

---

# 本日はお疲れ様でした！

本セミナー内容は、研究者の学術論文、現場で共に対策をしてきた顧問先の企業の方々の発案など、感染症.comがこれまで得た知見を基に構成しております。

現在、世界中の研究者の方々が新たな研究・発見・開発により、より良い対策が生まれることも予想されます。それまで私たちは、とにかく生き残りましょう！

**感染症.com運営事務局**

**株式会社アトラス 代表取締役 向田 朋之**

〒254-0902 神奈川県平塚市徳延131-1 カドヤビル301

フリーダイヤル：0120-429-109

Email : [info@kansenshou.com](mailto:info@kansenshou.com)